

平成22年 5月 6日
国土交通省中部地方整備局
岐阜国道事務所

国道41号美濃加茂バイパス事業の工事 残土における土壌試験結果について

1 概要

岐阜国道事務所で実施している国道41号「美濃加茂バイパス事業」は、黄鉄鉱^{※1}を含む土質を通過する事が設計段階から確認されていたことから、工事の施工及び掘削土の処理については土壌試験等を行いながら適切な対応を行ってきたところです。

今般、事業地内に仮置きしてある工事残土(約13千m³)を処理するにあたり土壌試験を実施したところ、土壌環境基準値を超過するカドミウム等(自然由来)が検出されたことから工事残土の処理については、「岐阜県建設発生土管理基準」を踏まえ学識経験者と処理方法等について検討を開始します。

※1：黄鉄鉱は酸素と水と接触することでイオン成分が溶出して強酸性水を生じさせるとともに、この強酸性水の影響で岩石中に含有している重金属類が溶出し、周辺環境に影響を及ぼすことが懸念される硫化鉱物です。

2 検出場所及び状況

検出場所：美濃加茂バイパス事業地内仮置き残土【別紙参照】
(加茂郡川辺町中川辺周辺)

検出状況：土壌環境基準値を超過している特定有害物質

特定有害物質名	基準値(mg/L)	検出値(mg/L)
カドミウム	0.010	0.011~0.032
鉛	0.010	0.018
セレン	0.010	0.011~0.029

3 影響・対策等

- ・仮置き残土は、ブルーシートにて雨水が浸入しないように養生しています。
- ・仮置き残土付近(水路・沢・池など)の水質モニタリングを継続的に実施しています。
- ・現在のところ周辺環境への影響をおよぼす特定有害物質は検出されていません。
- ・5月中に学識経験者による委員会を立ち上げ処理方法について検討を開始する予定です。

4 解禁 指定なし

5 配布先 岐阜県政記者クラブ

6 問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 岐阜国道事務所

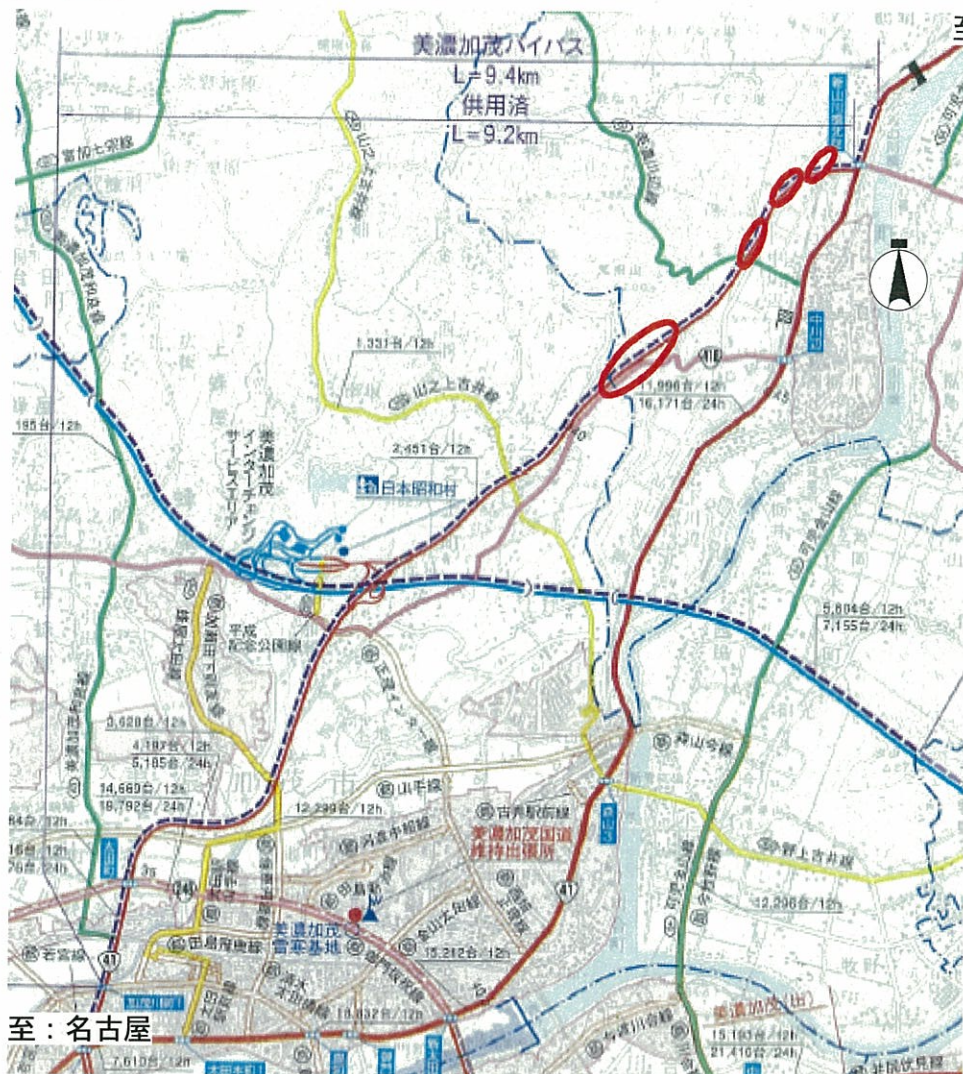
副所長 なかだいら ひろふみ 中平 浩文
電話 058-271-9811

工務課長 あきた おさむ 秋田 修
電話 058-271-9814

岐阜国道事務所 岐阜市茜部本郷1-36-1
HPさくらこくナビ <http://www.cbr.mlit.go.jp/gifu/>

【位置図】

【別紙】



至：高山

至：名古屋

○ 仮置き残土 箇所

仮置き残土状況（一事例）



断面図（一事例）

